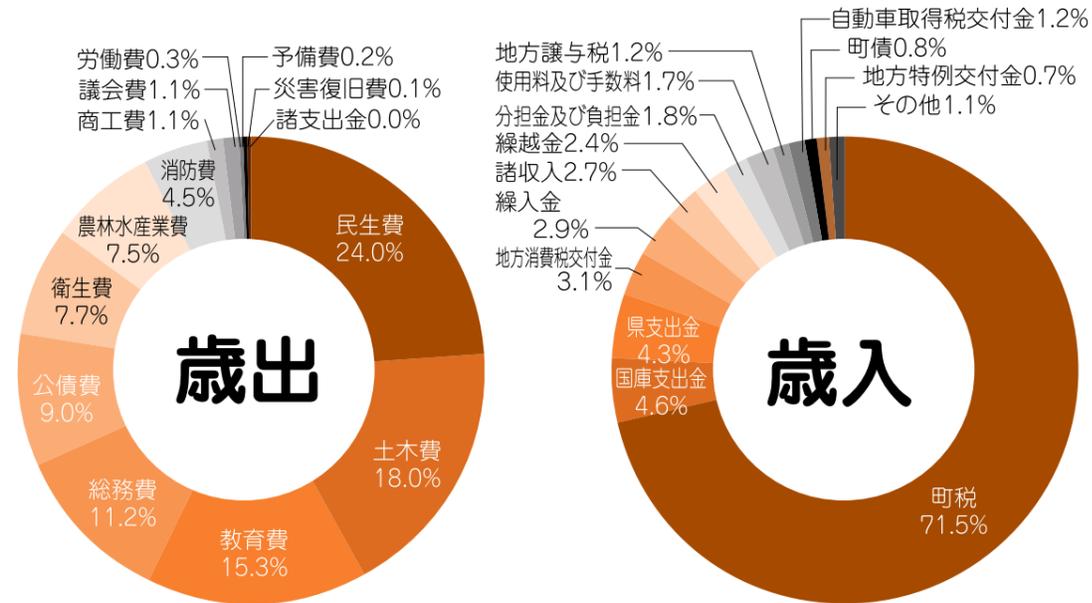


平成19年度幸田町一般会計  
**歳入歳出予算総額 123億9,650万円**



**住みよいまち**  
**住みたくなるまち 幸田**

将来の発展と安心の創造をめざして



幸田町長  
**近藤 徳光**

近年、我が国の社会情勢は、少子高齢社会の到来や環境問題など大きく変化しており、また、景気は回復の傾向にあるとはいえ、市町村を取り巻く環境は依然として、不透明で予断を許さない状況であります。

このような中、平成19年度は、第5次総合計画を指針に、簡素で効率的な行政を推進するため組織の再編に取り組み、「住みよいまち住みたくなるまち 幸田」の実現を目指し、安全安心対策、子育て・障害者支援などの拡大や教育環境の整備等に加えて、相見・幸田駅前を始めとする都市基盤整備事業等へ積極的に取り組む予算を編成いたしました。

**平成19年度  
 当初予算**

**一般会計**

● 予算総額  
 123億9,650万円

一般会計は、町が行う仕事の大部分をまかなう予算で、町税や国・県からの支出金などを財源にしているもので、町民の皆さんに最も関わりの深い予算といえます。

**特別会計**

● 予算総額 (7特別会計)  
 77億7,245万円

特別会計は、特定の財源で特定の事業を行うもので、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・幸田駅前土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計があります。

**企業会計**

● 収益的支出  
 6億8,770万円

● 資本的支出  
 5億599万円

企業会計は、税金を使わず、一つの会社のように独立採算制で事業・経理を行うものです。本町では、水道事業会計がこれにあたります。

**歳出**  
 歳出を費目別に見ると、民生費が全体の24.0%を占め、次いで土木費18.0%、教育費15.3%となっています。また、議会費は議員定数の削減により、前年対比15.0%の減となっています。総額では、前年度に対して6.5%の伸びとなっていますが、前年実施した繰越事業（幸中体育館改築工事等）を考慮すると、実質は2.2%の減となっています。

**歳入**  
 最も大きな割合を占めているのが町税で、所得譲与税の廃止による個人住民税の増や企業の設備投資などにより、全体の71.5%を占め、伸び率8.7%増となっています。逆に地方譲与税は前年対比63.5%の減となりました。国庫支出金は児童手当の3歳未満児の加算等により伸び率3.8%増となり、繰入金は、行政需要に対する不足を財政調整基金で補てんし、伸び率129.5%増となりました。

**主な区分の内容**

- **歳入**…1年間のすべての収入
- **町税**…町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など歳入の貴重な財源。
- **国庫(県)支出金**…特定の事業の財源の一部として、(国(県)から支出されるお金。
- **地方譲与税**…国税として徴収し、地方に譲与する地方道路譲与税、自動車重量税(所得譲与税は、前年度をもって廃止)
- **町債**…大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金。
- **歳出**…1年間のすべての支出
- **民生費**…お年寄りや子ども、障害者など福祉や医療などに使われるお金。
- **教育費**…小・中学校、ハッピーネス・ヒル・幸田の運営や生涯学習講座などに使われるお金。
- **総務費**…町職員の給与や町の財産の管理などに使われるお金。
- **公債費**…町債を返済するお金。

会計区分	平成19年度予算	平成18年度予算	伸び率(%)	
一般会計	123億9,650万円	116億3,570万円	6.5	
特別会計	土地取得特別会計	4億5,036万円	4億9,740万円	▲9.5
	国民健康保険特別会計	26億4,298万円	24億7,497万円	6.8
	老人保健特別会計	19億5,653万円	19億5,617万円	0.0
	介護保険特別会計	11億1,194万円	10億7,418万円	3.5
	通所介護サービス特別会計	0万円	1,180万円	皆減
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	2億5,196万円	0万円	皆増
	農業集落排水事業特別会計	3億6,734万円	3億7,806万円	▲2.8
	下水道事業特別会計	9億9,134万円	10億7,727万円	▲8.0
水道事業会計	収益的支出	6億8,770万円	6億4,570万円	6.5
	資本的支出	5億599万円	3億8,265万円	32.2
合計	213億6,264万円	201億3,390万円	6.1	

**主要な施策**

**①安全で快適な都市の  
 基盤・生活の環境づくり**

住民が安心して暮らしを営めるよう、安全性、利便性、快適性の高い都市環境の整備に努めます。

- 安全・安心対策
  - ・公共施設耐震工事  
 (中央小・深溝小・幸田中・鷺田公民館・六栗公民館)
  - ・幸田駅バリアフリー化
  - ・民間木造住宅耐震診断、耐震改修支援
  - ・家具転倒防止対策
  - ・防災行政無線子局設置
  - ・自主防災育成



▲耐震工事が予定されている六栗公民館

- 消防・救急
  - ・防災備蓄倉庫設置
  - ・小学校等AED設置
- 交通・防犯
  - ・セーフティステーション設置
  - ・自主防犯活動支援
  - ・防犯灯設置

●道路・橋梁整備

- ・生活道路の舗装、側溝整備
- ・野場横落線他道路整備
- ・深溝跨線橋耐震工事
- ・防災ダム大井池地区整備
- ・不動ヶ池地域用水環境整備
- ・新田井堰整備
- ・急傾斜地防災対策

●基盤整備

- ・相見・野場地区の区画整理組合補助
- ・幸田駅前地区土地区画整理
- ・岩堀地区市街化編入調査

●下水道(公共下水・集落排水)

- ・相見処理分区、中部処理分区、南部処理分区の整備推進
- ・矢作川流域下水道建設負担
- ・農業集落排水事業13地区維持管理

●上水道

- ・水道ビジョン策定
- ・水管橋等耐震補強
- ・土地区画整理事業関連配水管布設
- ・道の駅関連等配水管布設

●環境と調和する  
 まちづくり

緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進するため、身近なふれあいの

きる場づくり、安全で、清潔な、公害のない、創造的で質の高い生活環境整備に努めます。

●環境対策

- ・ISO14001認証取得
- ・住宅用太陽光発電システム支援
- ・環境調査
- ・循環型社会の構築
- ・墓地公園整備構想
- ・一般廃棄物最終処分場管理運営
- ・生ごみ堆肥化等支援



▲3月に完成した一般廃棄物最終処分場

●都市公園整備

- ・幸田中央公園整備工事、用地購入
- ・幸田公園用地購入

●多様な産業が育つ  
 まちづくり

培われた地域産業を生かし、まち全体の調和の中で創造性の高い産業

振興に努めます。

●農村・農林業振興

- ・集落環境整備
- ・農地・水・環境保全向上活動
- ・農業ふれあい講座
- ・ふれあい農園開設
- ・道の駅実施設計
- ・林道開設整備(須美南山1号・一之小屋線)
- ・造林事業補助



▲農業ふれあい講座

●商工・観光・勤労者対策

- ・優良企業の誘致推進
- ・商工業経営安定対策の推進
- ・勤労者住宅資金利子補給

●健康・福祉のまちづくり

すべての人々が、心身ともに健康で生きがいと安らぎをもって、安心して暮らせる地域社会を形成してい

きます。

●健康づくり

- ・みんなで育む健康こつた21計画の推進
- ・各種予防接種、健診の実施
- ・不妊治療助成

●高齢者、障害者福祉・介護保険

- ・障害者自立支援の推進
- ・障害者医療制度の拡大
- ・介護予防対策の推進
- ・火災警報器設置補助

●児童福祉・保育園整備

- ・次世代育成支援行動計画の推進
- ・保育園施設整備
- ・軽度発達障害療育の支援
- ・乳幼児医療費無料化拡大
- ・ファミリーサポートセンター開設

●地域文化・人づくり

ライフステージに応じた教育・文化・学習活動の場づくり、環境づくりに努めることにも、広い視野、豊かな感性を持った人材の育成により、まちの文化の新たな創造を図ります。

●社会教育

- ・生涯学習講座開設
- ・青少年健全育成
- ・夏まつり、凧揚げまつり支援
- ・中央公民館管理運営

●スポーツ振興

- ・二コーススポーツの普及
- ・スポーツ教室開催
- ・深溝運動場整備

●学校教育

- ・少人数通級指導対応教育の推進
- ・地域に根ざした学校づくり
- ・教育相談活動の充実
- ・幸田小・深溝小学校舎改造

●国際化推進

- ・国際交流事業補助
- ・中学生海外研修
- ・外国人英語講師の増員
- ・外国人英語講師の増員
- ・外国人英語講師の増員
- ・外国人英語講師の増員

●コミュニティ

- ・コミュニティ活動支援
- ・地区集会施設建設補助

●健全な行財政による  
 確かなまちづくり

住民が積極的に行政に参加できる開かれたまちの実現を目指します。また、長期的な視点にたった行財政運営の確立と機能強化を図ります。

●情報公開推進

- ・広報紙発行
- ・町政モニター
- ・ケーブルテレビ番組作成

●指定管理者制度

- ・ハッピーネス・ヒル・幸田
- ・高年齢いきがいセンター及びふれあいプラザ
- 行財政運営
  - ・行政改革大綱に基づく事務改善の推進
  - ・行政評価による事務事業見直し
  - ・借地の解消
  - ・公債費の抑制

町民一人当たりの予算の使い道(一般会計)

**34万3,336円**

(前年度金額32万8,989円)

\* 予算額を平成19年3月1日現在の幸田町の人口3万6,106人で割って算出しました。(1円未満四捨五入)

1	民生費	8万2,523円	(9.0%増)
2	土木費	6万1,948円	(0.5%増)
3	教育費	5万2,467円	(11.2%増)
4	総務費	3万8,537円	(10.3%増)
5	公債費	3万753円	(1.9%減)
6	衛生費	2万6,514円	(3.4%増)
7	農林水産業費	2万5,606円	(3.0%減)
8	消防費	1万5,321円	(1.8%減)
9	商工費	3,923円	(2.7%減)
10	議会費	3,643円	(16.8%減)
11	労働費	927円	(6.5%減)
12	その他	1,174円	(12.6%増)
合計		34万3,336円	(4.4%増)

本町の行財政運営は、多様な行政需要や本格的な地方分権への移行などに係る経費の増加が見込まれ、厳しい状況下にあります。諸施策の実施にあたりましては、町民の皆様との対話の中からいただいた貴重なご意見を可能な限り取り入れ意欲的に取り組む、努力していきます。

問合せ 財政課財政G(内線333)